

## 令和2年度 上下水道部の「実行宣言」

作成者 (評価者)	上下水道事業管理者	西川 昌宏
--------------	-----------	-------

### 組織の概要（主な業務）

**【組織の役割】**

上下水道部は、生活に欠かすことのできない安全な水道水を安定して市民に供給することや、快適な住環境の維持改善のため公共下水道の整備、市街地の浸水対策など、市民生活のライフラインとして極めて重要な役割を担っています。

**【主な所掌事務】**

- ・上下水道総務課：総務全般に関する業務、上下水道部の予算会計に関する業務、水道料金・下水道使用料・下水道受益者負担金の賦課、徴収に関する業務。
- ・上水道建設課：水道管の新設や更新に係る工事や水道管の維持管理、また給水工事等に係る業務。
- ・水源管理課：自己水源の施設管理や水道水の水質管理、また県営水道との受水調整。
- ・下水道建設課：公共下水道の計画策定から事業の実施、下水道の使用に伴う排水設備工事、また雨水のポンプ場等の更新工事や維持管理
- ・北部上下水道事務所：嬉野、三雲管内の水道事業、下水道事業を統括。
- ・西部水道事務所：飯南、飯高管内の水道事業を統括。

### 1. 令和元年度「実行宣言」の評価

評価基準…S（100%以上）、A（90~99%）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）

<b>上下水道部</b>	<b>水道事業基本計画・水道ビジョンの策定に努めます。</b>	<b>評価</b>	<b>S</b>
<p><b>【評価理由と今後の方針】</b></p> <p>老朽化する水道施設の更新需要や大規模地震に対応する耐震化等を踏まえて、財政計画の見直しを図り、令和2年度からの10年間における今後の水道事業を示した「松阪市水道事業基本計画」及び「松阪市水道事業ビジョン」を3月に策定しました。今後は「松阪市水道事業ビジョン」に示した目標を具体化し、「松阪市水道事業基本計画」に基づきながら財政状況や社会情勢等の変化を見極め、目標に対する計画の進行管理を行います。</p>			
<b>上下水道部</b>	<b>床上浸水ゼロ（愛宕川流域）に向けて詳細設計を進めます。</b>	<b>評価</b>	<b>S</b>
<p><b>【評価理由と今後の方針】</b></p> <p>松阪地区浸水対策検討会の対策実施計画書に基づき、愛宕川雨水管渠基本設計及び詳細設計を完成させました。今後はこの設計に基づき、令和2年度から令和7年度にかけて対策工事に取り組みます。</p>			
<b>上下水道部</b>	<b>基幹管路の耐震化と老朽管の更新に努めます。</b>	<b>評価</b>	<b>S</b>
<p><b>【評価理由と今後の方針】</b></p> <p>基幹管路の耐震化については、平成30年度末の耐震適合率36.6%を令和元年度末では、目標の37.0%を上回る37.2%に達しました。また、370mの整備目標であった老朽管の更新については、736mの整備を行いました。今後も「松阪市水道事業基本計画」に基づき、老朽管の更新を積極的に行います。</p>			

**【部局長シート】**

<b>上下水道部</b>	<b>公共下水道（汚水）の普及促進に努めます。</b>	<b>評価</b>	<b>A</b>
<p>【評価理由と今後の方針】</p> <p>工事施工に当たり地元関係者との調整に不測の日数を要したなどの理由により、年度内での完成ができなくなった繰越工事が発生したため、目標とする汚水整備面積57.5haを3.5ha下回る54.0haに留まりました。今後も整備を進め下水道普及率の向上を図っていきます。</p>			
<b>上下水道部</b>	<b>上下水道事業の安定経営と高水準の料金収納率の確保に努めます。</b>	<b>評価</b>	<b>S</b>
<p>【評価理由と今後の方針】</p> <p>水道事業については、経常収支比率（110%）、営業収支比率（106%）ともに100%以上の維持に努めており、公共下水道事業については、整備面積の拡大のほか虹ヶ丘町（大型住宅団地）やニプロファーマー、衛生センター（工業施設）への接続により収入増に努めました。また、料金収納率は99.60%（3月末時点）となり、高水準の料金収納率を維持できる見込みであります。</p> <p>引き続き、安定経営と高水準の料金確保に努めてまいります。</p>			



<b>2. 令和2年度 「実行宣言」</b>	
<b>上下水道総務課</b>	<b>上下水道事業の安定経営と高水準の料金収納率の確保に努めます。</b>
<b>上水道建設課</b>	<b>基幹管路の耐震化と老朽管の更新に努めます。</b>
<b>水源管理課</b>	<b>嬉野管内の3つの送水ポンプ場の統廃合に向けての基本設計を進めます。</b>
<b>下水道建設課</b>	<b>床上浸水ゼロ（愛宕川流域）に向けて整備工事を進めます。</b>
<b>下水道建設課</b>	<b>公共下水道（汚水）の普及促進に努めます。</b>

【部局長シート】

3. 『松阪市総合計画』 関係施策の進捗度

評価基準…S (100%以上)、A (90~99%)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)

施策番号		施策名				
5 - ⑥		浸水対策の充実				
関係 施策 1	指標名	雨水排水施設（宮町・沖ス・大口ポンプ場）事業進捗率				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	60.0 %	A	28.0 %	B
	実績	32.0 %	56.0 %		24.0 %	
	評価指標①	進捗度の評価				
<p>雨水排水施設の整備は、平成29年度の計画見直し（沖スポンプ場ストックマネジメント事業の実施時期の延伸）により、目標値が60.0%から56%になりますので、計画見直し後の実績においては計画通りの達成となります。4年間の増減・進捗評価につきましても、平成29年度の計画見直しに伴うもので、目標値が28%から24%となりますので、計画見直し後の実績においては計画通りの達成となります。引き続き事業の進捗に努めてまいります。</p> <p>大口ポンプ場増設（H29完成）、沖スポンプ場増設（H29～R5）、宮町ポンプ場ストックマネジメント事業（H27～R4）、沖スポンプ場ストックマネジメント事業（R4～）</p>						
施策番号		施策名				
6 - ⑦		上下水道の整備				
関係 施策 2	指標名	基幹管路の耐震適合率				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	37.0 %	S	7.7 %	S
	実績	29.3 %	37.2 %		7.9 %	
	評価指標①	進捗度の評価				
<p>事業は計画通り進捗しています。令和2年度以降は、「松阪市水道事業基本計画」に基づき、基幹管路の耐震化を進めていきます。</p>						
評価指標②	指標名	下水道普及率				
評価指標②	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	58.0 %	S	6.0 %	S
	実績	52.0 %	58.2 %		6.2 %	
進捗度の評価						
<p>事業は計画通り進捗しています。令和2年度以降は、整備計画に基づき、管渠整備を進めていきます。</p>						

【部局長シート】

関係施策2	評価指標③	指標名	水洗化率				
		年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
		目標	-	80.0 %	A	2.2 %	B
		実績	77.8 %	79.4 %		1.6 %	
		進捗度の評価					
	平成28年3月までに供用開始した地域には、例年より多く新興住宅が含まれていたことから、前年度より接続件数が大幅に落ち込み、目標値を下回りました。						
	評価指標④	指標名	上水道の整備に対する市民満足度				
		年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
		目標	-	3.60 /5	S	0.10 /5	S
		実績	3.50 /5	3.60 /5		0.10 /5	
進捗度の評価							
松阪市市民意識調査の結果、平成27年度3.50⇒平成29年度3.54⇒令和元年度3.60となり、目標値3.60をクリアしました。今後も事業コストの縮減を図りながら、水道利用者のニーズを把握しお客様サービスの向上に努めていきます。							

【課長シート】

組織名	上下水道部	作成者（評価者）	上下水道事業管理者 西川 昌宏
関係する 「実行宣言」	令和元年度	水道事業基本計画・水道ビジョンの策定に努めます。	
		床上浸水ゼロ（愛宕川流域）に向けて詳細設計を進めます。	
		基幹管路の耐震化と老朽管の更新に努めます。	
		公共下水道（汚水）の普及促進に努めます。	
		上下水道事業の安定経営と高水準の料金収納率の確保に努めます。	
	令和2年度	床上浸水ゼロ（愛宕川流域）に向けて整備工事を進めます。	
		基幹管路の耐震化と老朽管の更新に努めます。	
		嬉野管内の3つの送水ポンプ場の統廃合に向けての基本設計を進めます。	
		公共下水道（汚水）の普及促進に努めます。	
		上下水道事業の安定経営と高水準の料金収納率の確保に努めます。	
関係する『総合計画』施策	5－⑥ 浸水対策の充実		
	6－⑦ 上下水道の整備		
<b>組織の概要（主な業務）</b>			
<p>【組織の役割】</p> <p>上下水道部は、生活に欠かすことのできない安全な水道水を安定して市民に供給することや、快適な住環境の維持改善のため公共下水道の整備、市街地の浸水対策など、市民生活のライフラインとして極めて重要な役割を担っています。</p> <p>【主な所掌事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道総務課：総務全般に関する業務、上下水道部の予算会計に関する業務、水道料金・下水道使用料・下水道受益者負担金の賦課、徴収に関する業務。</li> <li>・上水道建設課：水道管の新設や更新に係る工事や水道管の維持管理、また給水工事等に係る業務。</li> <li>・水源管理課：自己水源の施設管理や水道水の水質管理、また県営水道との受水調整。</li> <li>・下水道建設課：公共下水道の計画策定から事業の実施、下水道の使用に伴う排水設備工事、また雨水のポンプ場等の更新工事や維持管理</li> <li>・北部上下水道事務所：嬉野、三雲管内の水道事業、下水道事業を統括。</li> <li>・西部水道事務所：飯南、飯高管内の水道事業を統括。</li> </ul>			

令和元年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道事業においては、経常収支比率は110%、本業の営業収支比率も106%となり黒字経営を維持することができました。</li> <li>・都市下水路管理運営事業費、都市下水路整備事業費、雨水施設ストックマネジメント事業費及びポンプ場施設長寿命化事業については、大きなトラブルもなく、大雨や台風時に浸水被害を防ぎました。</li> <li>・管路新設事業、老朽施設更新事業、老朽管更新事業については、計画通り整備が進捗し、水道水の安定供給が概ねできました。</li> <li>・高須公園多目的広場施設管理事業費については、目標300人に対し実績は403人で目標を達成できました。</li> </ul>

## 【課長シート】

### 【達成できなかったこと】

・関連公共下水道事業については、工事施工に当たり関係者との調整に不測の日数を要した等の理由により、年度内での完成が見込めなくなった繰越工事が発生したため、目標とする汚水整備面積57.5haを3.5ha下回る54.0haに留りました。

### 令和2年度の取組・目標について（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

#### 【重点取組と目標】

・「松阪市水道事業基本計画」に基づき、基幹管路の耐震化や老朽管の更新を進めると共に、嬉野管内の島田、八田、薬王寺の三か所の送水ポンプ場を1カ所に統廃合し、自家発電設備を備えた統合ポンプ場の建設に着手するための基本設計業務を実施します。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、「新しい生活様式」の中で、「まめに手洗い・手指消毒」が掲げられていることから、水道事業者として「安全な水の安定供給」に今後も努めてまいります。

・松阪地区浸水対策検討会対策実施計画書に基づく、愛宕川雨水管渠詳細設計に基づき、対策工事に取り組みます。

・下水道整備につきましては、下水道普及率60.8%、汚水整備面積45.6haを目標として、整備を進め下水道普及率の向上を図ってまいります。

【上下水道部】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	令和元年度				令和2年度					
				当初予算（千円）	最終予算（千円）	活動指標			方針	当初予算（千円）	活動指標		
1	水道事業会計繰出金	一般	6-⑦	105,617	105,346	①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。			継続	103,216	①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						①110%	①110%	S			①110%		
						②100%	②106%				②100%		
2	都市下水道管理運営事業費	一般	5-⑥	130,904	129,436	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場及び都市下水道等の維持管理			継続	161,029	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場及び都市下水道等の維持管理		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						発生ゼロ	発生ゼロ	S			発生ゼロ		
3	都市下水道施設整備事業費	一般	5-⑥	12,700	10,961	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場のエンジン点検整備及び導水路の維持管理			継続	6,700	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場のエンジン点検整備及び導水路の維持管理		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						発生ゼロ	発生ゼロ	S			発生ゼロ		
4	雨水施設ストックマネジメント事業費	一般	5-⑥	15,567	13,999	長寿命化計画達成率 (対策済みのポンプ場/対策すべきポンプ場)			継続	5,000	長寿命化計画達成率 (対策済みのポンプ場/対策すべきポンプ場)		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						45.0%	53.5%	S			45.0%		
5	公共下水道事業会計繰出金	一般	6-⑦	2,948,356	2,886,982	①雨水対策（床上浸水ゼロ）詳細設計（愛宕川）の実施 ②下水道普及率 ③汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）			継続	2,994,914	①雨水対策（床上浸水ゼロ）対策工事（愛宕川）の実施（1工区） ②下水道普及率 ③汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						①今年度中 ②58.0% ③57.5ha	①今年度中 ②58.2% ③54.0ha	A			①L=150m ②60.8% ③66.2%		

【上下水道部】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	令和元年度				令和2年度					
				当初予算（千円）	最終予算（千円）	活動指標			方針	当初予算（千円）	活動指標		
6	高須町公園多目的広場施設管理事業費	一般	6-⑦	3,000	3,000	施設の年間利用者数			継続	2,850	施設の年間利用者数		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						300人	403人	S			300人		
7	朝見簡易水道管理事業費	特別	6-⑦	5,393	4,615	水質基準値適合率			継続	5,480	水質基準値適合率		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						100.0%	100.0%	S			100.0%		
8	ポンプ場築造事業費	企業	5-⑥	282,000	311,850	築造計画達成率 (築造済みのポンプ場/築造すべきポンプ場)			継続	320,000	築造計画達成率 (築造済みのポンプ場/築造すべきポンプ場)		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						56.9%	57.2%	S			79.0%		
9	管路新設事業	企業	6-⑦	76,000	101,000	配水支管の整備延長			継続	95,000	配水支管の整備延長		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						600m	817m	S			300m		
10	老朽施設更新事業	企業	6-⑦	86,200	81,290	老朽化を原因とするトラブル発生件数			継続	20,500	老朽化を原因とするトラブル発生件数		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						発生ゼロ	発生ゼロ	S			発生ゼロ		
11	老朽管更新事業	企業	6-⑦	1,102,700	1,002,700	基幹管路の整備延長			継続	1,048,800	基幹管路の整備延長		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						370m	736m	S			60m		
12	その他水道事業会計全事業費	企業	6-⑦	3,468,905	3,380,650	①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。			継続	3,470,898	①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						①110%	①110%	S			①110%		
						②100%	②106%						



【上下水道部】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	令和元年度				令和2年度					
				当初予算（千円）	最終予算（千円）	活動指標			方針	当初予算（千円）	活動指標		
13	関連公共下水道事業	企業	6-⑦	2,451,480	2,454,360	①下水道普及率 ②汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）			継続	2,342,851	①下水道普及率 ②汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						①58.0%	①58.2%	A			①60.8%		
						②57.5ha	②54.0ha				②45.6ha		
14	中勢沿岸流域下水道事業松阪処理区（負担金）	企業	6-⑦	200,836	153,466	①下水道普及率 ②汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）			継続	49,785	①下水道普及率 ②汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						①58.0%	①58.2%	A			①60.8%		
						②57.5ha	②54.0ha				②45.6ha		